

## 今後の日程

(12月)

- 15 第42期第1回県共闘会議拡大幹事会  
18 和歌山「全女」に向けた要請  
(県・和歌山市)  
21 対県2次交渉  
環境生活部・福祉保健部  
(書道資料館)  
農林水産部・県土整備部  
(スマイルホテル)  
22 第135回狭山ビラ統一行動  
教育委員会・商工観光労働部  
(書道資料館)  
総務部・企画部(スマイルホテル)  
和歌山同企連2017年度  
第2回幹事会(新橋ビル)  
23 第63回「全女」に向けた座談会  
(大阪市)  
25 「全国部落調査」復刻版出版事件  
第7回口頭弁論(東京)  
小林茂さんご苦労様でしたの会  
(ダイワロイネットホテル)  
28 仕事納め



善明寺支部による紙芝居と歌



女性部の一年間の活動を見学するようす

## 女性部・青年部で学習会

午前中は紙芝居「西光万吉物語」と歌を善明寺支部が披露した。山本はつ美(善明寺支部・女性部長)さんは、水平社創立90周年のとき、日本ではじめ

第2回女性部一日研修会を10月1日、和歌山ビッグ愛でひらき、18支部62人が参加した。

ての人権宣言である水平社宣言をより深く学びたいと語り合ったことがきっかけで、紙芝居の制作にとりくんだ。これからも色々な方法で差別をなくすために発信していきたいと語った。

つぎに中田理恵子(中央女性運動部)さんから「マイノリティ女性が訴えた女性ことは難しいが、まちがつた慣例は変えなければならぬ。できる、できないにかかわらずに意識することが大切。さらに、差別されている側が声をあげなけれ

た。たしたち」と題して学習した。知らない権利は守れない。権利を知ることが大切であることや慣例を変えることには難しいが、まちがつた慣例は変えなければならぬ。できる、できないにかかわらずに意識することが大切。さらに、差別され

た。たしたち」と題して学習した。知らない権利は守れない。権利を知ることが大切であることや慣例を変えることには難しいが、まちがつた慣例は変えなければならぬ。できる、できないにかかわらずに意識することが大切。さらに、差別され

た。たしたち」と題して学習した。知らない権利は守れない。権利を知ることが大切であることや慣例を変えることには難しいが、まちがつた慣例は変えなければならぬ。できる、できないにかかわらずに意識することが大切。さらに、差別され

た。たしたち」と題して学習した。知らない権利は守れない。権利を知ることが大切であることや慣例を変えることには難しいが、まちがつた慣例は変えなければならぬ。できる、できないにかかわらずに意識することが大切。さらに、差別され



知ることの大切さを語る中田さん



「水平社宣言」を手話で指導する酒匂さん

## 識字の活性化にむけて

## 識字経験交流会

徳島市の阿波観光ホテルで10月14日・15日、部落解放第17回全国識字経験交流会がひらかれた。全国から13府県連127人が集結し、県連から松本吉弘・教育文化運動部長、坂下君代・同副部長、事務局の3人が参加した。

開会あいさつに山崎鈴子・中央女性運動部長は、「昨年制定された「推進法」の成果と狭山の再審勝利にむけた闘いの現状報告とともに『全国部落調査』など、私たちを就職や結婚から排除してきた行為はみすごいことはできない。今日の交流集会の意見交換で、さらなる識字活動につなげてい

ただきたいとあいさつした。つぎに、地元歓迎あいさつを中原サヲ江・徳島県連副委員長からうけ、来賓あいさつとつづいた。伊藤満・中央執行委員から基調提案がおこなわれ、弘瀬正彰・鮎喰識字解放学級運営委員長より、DVD上映「識字がんばろうな」と「識字

ばならないと語った。

午後からは、青年部15人が参加し、和歌山手話通訳問題研究会の酒匂美也子さんによる手話歌指導で「水平社宣言」、「母はたたかわん」を学んだ。

つぎに、第73回全国大会(2016年)に決定しスタートしている「男女平等社会実現基本方針(第2次

平成28年)に決定しスタートしている「男女平等社会実現基本方針(第2次

平成28年)に決定しスタートしている「男女平等社会実現基本方針(第2次

## 支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山市神前405-3  
部落解放同盟連合会内  
解放新聞和歌山支局宛

てしまっている若者の実態がある。識字教室での実践が、地域の活性化を図りどころになるのではない。各支部での活動と連絡しながら、識字運動の展開を豊かなものにし「推進法」との関連をふくめ、各自治体との交渉をすすめてほしいと、まとめて閉会のあいさつがあった。

改訂)について、中田さんから、解放同盟としての具体的なとりくみと組織内の目標について学習した。

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していただきたいと思います。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。

(発送先)〒640-8314

支局までお送り下さい。